

清政

せいせい

神道政治連盟京都府本部会報
平成18年11月21日発行(年2回発行)



昨年皇室典範改正有識者会議による答申が示され、まことに不本意な内容にも拘らず政府は女系天皇容認第一子優先による皇位継承を盛り込んだ改正を図り通常国会に上程を企てました。神政連では阻止すべく通常国会開会前日の一月十九日全国800名の神職が永田町憲政記念館に集い決起集会を開催しました。衆参両議院会館においては陳情反対署名をお願いし、神職の明確な意思表示を小泉前総理はじめ閣僚に伝えさせて頂きました。

京都府本部におきましても自民党国会議員先生方の京都事務所、議員会館事務所へ陳情に参り、衆議院議員伊吹文明先生始め井澤京子先生、清水鴻一郎先生、参議院議員二之湯智先生より神政連推薦の公約通りご賛同署名を頂きました。

皇后陛下御歌
あづかれる
宝にも似て
あるときは
吾子ながらかひな
おぞ畏れつつ抱く

自反而縮 雖千萬人 吾往矣
神道政治連盟京都府本部に期待して
沖縄・京都の塔慰靈参拝団
靖國神社・京都府出身戦没者慰靈祭
京都府本部会員大会
事務局からの活動報告
おがたまの木コンサート

41

「自反而縮 雖千萬人 吾往矣」

神道政治連盟京都府本部

本部長 林 秀俊



悠仁親王殿下のご誕生を謹んでお祝い申しあげ、健やかなご成長を衷心よりお祈り致します。

昨年皇室典範改正有識者会議による答申が示され、まことに不本意な内容にも拘らず政府は女系天皇容認第一子優先による皇位継承を盛り込んだ改正を図り通常国会に上程を企てました。神政連では阻止すべく通常国会開会前日の一月十九日全国800名の神職が永田町憲政記念館に集い決起集会を開催しました。衆参両議院会館においては陳情反対署名をお願いし、神職の明確な意思表示を小泉前総理はじめ閣僚に伝えさせて頂きました。

京都府本部におきましても自民党国会議員先生方の京都事務所、議員会館事務所へ陳情に参り、衆議院議員伊吹文明先生始め井澤京子先生、清水鴻一郎先生、参議院議員二之湯智先生より神政連推薦の公約通りご賛同署名を頂きました。

教育基本法改正についても、政府が準備した改正法案は我々が望む内容からは遠く「愛国心」「宗教的情操の涵養」は

また府議会におきましても西田昌司府議の計らいにより多数の自民党議員団の先生方にご賛同を頂くことができました。あたかも時変わらず秋篠宮家よりご慶事、妃殿下のご懷妊が発表され、改正法案の上程が見送られたことは、誰しもがこれぞ神の国日本であることを確信されたのではないかと感じております。

この改正に向けた内容の理論的根拠は、男女平等、男女共同参画イデオロギーに依拠するものであり、皇室の伝統は全く無視されております。

親王殿下ご誕生による御慶事によりひとまず落ち着く事と思いますが、更なる問題を含んでいる事を決して忘れてはいけないと思っています。

神社界では、今回の改正論議が起こる以前から改正の必要性を指摘していた事はご承知の通りであり、現行の皇室典範は敗戦後の中占領中に制定されたもので、憲法と同格の国家基本法とされ制定される明治の旧典範とは異なり、一般的の法律と同様に国会の議決で簡単に改変できる、いわば日本の国柄の基礎が多数決でいつも簡単に方向づけられてしまうのが実態であります。戦後止む無く皇室離脱をされた十一宮家の皇籍復帰問題を含め、我が国の国柄を守るためにも慎重かつ冷静に、しっかりと改正議論をする必要があると思つております。

教育基本法改正についても、政府が準備した改正法案は我々が望む内容からは遠く「愛国心」「宗教的情操の涵養」は

削除「不当な支配」はそのまま残される有様であり自公連立から生じる苦渋の折衷案が示されました。「愛国心を養う」とは書けず「愛する態度を養う」全く見せかけだけであります。現在の教育基本法は全てにおいて個人を強調しきており、家庭や家族を蔑ろにし教育現場を強調するがゆえ行政の「不当な支配」を排除しようとしてきました。

また日本国民を抱きとめ、守り育てる大きな枠組みとしての国家や、国家を構成する歴史や文明、穏やかで謙虚な精神文明を生み出した宗教心の重要性を無視して、まるで人間はみな突然、ひとりでこの世に生れ、ひとりで成長してきたかのように位置づけようとしたしました。

その結果、個人はバラバラの存在となり、家庭や家族、故郷や国から切り離された結果、現在頻繁に起こっている親殺し子殺し、教師によるいじめ自殺事件等

後世に恥じない日本人による日本の為の改正であつてもらいたいものであり、安倍内閣に期待するところであります。

靖國神社に関わる問題についても中国、韓国、依然変わらぬ内政干渉、後押しをするマスコミ、十分な検証もされず政治利用された富田メモ、またもや十月に大阪地裁に提訴した、お馴染浄土真宗大谷派僧侶と嫌靖國弁護士率いる「靈廟簿から氏名抹消訴訟」など等、今日の日本の安寧、経済発展も尊い命を国に捧げられた英靈あつてのことだということが全く理解されていません。

我々は中韓相手に直接戦うことは出来

連国会議員懇談会の先生方であります。

安倍総理は長らく神政連国会議員懇談会の事務局長として神政連と国政との太いパイプ役としてご指導賜り、また安倍新内閣の文部科学大臣にご就任された伊吹文明先生は同会の幹事長であり、更是に

は教育再生担当内閣総理大臣補佐官として就任された山谷えり子先生は神政連公認候補として当選され教育改革に対し強い熱意を持ってご活躍されています。

基本方針に教育再生を掲げる安倍新政

ませんが、英靈顯彰、追悼行事を行うことにより、国内世論の喚起、またその環境整備こそ神社に携わる者として自らであります。

来年夏には第二十一回参議院選挙が行われますが、しっかりととした国家観と地に足の着いた生活觀を持つて、教育、外交衛生問題と国家的根本的問題に取り組んで頂いております有村治子先生が自民党公認候補、神政連唯一の推薦候補として比例区よりご出馬されます。

安倍政権を支える重要な一人として、

神社界の声を政府、国会、与党に届けていただける有村治子先生を支援してまいりたく思っております。

「自ら反みて縮くんば千万人といえども吾ゆかん」

残された任期、神政連の掲げる「日本らしさ」恢復のため邁進致したく、更なるお力添えを賜りますこと切にお願い申し上げます。

「神道政治連盟京都府本部に期待して」神道政治連盟副会長

後藤俊彦先生

Reflect
the times

今
⑨
という
時



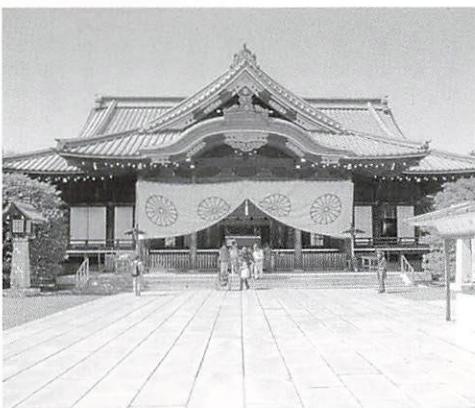
昭和二十年、宮崎県高千穂町生まれ。九州産業大学商学部卒業後、参議院議員秘書。昭和五十年、國學院大學神道学専攻科及び日本大学今泉研究所を卒業。福島宣にて昭和五十六年、高千穂神社宮司に就任。昭和五十五年及び平成元年には高千穂神樂ヨーロッパ公演を行う。昭和六十二年、神道文化奨励賞受賞。現在、神道政治連盟副会長、高千穂神社宮司、神社本庁参与、神宮評議員、神社本庁九州地区講師など。

江戸時代に頼山陽は王城の地京都を「山紫水明の地」と呼びました。それは單に山水の恵み豊かな土地と言うだけのものではなく、千年に及ぶ朝廷の歴史と文化を育み支えてきた歴史の土壤をも含めての讃辞であると思います。私が初めて上洛しましたのは四十年も前のことですが、京都には今も昔と変わらない景観が保存されているところが多く、風景であれ言葉であれ、人情風土であれいつも変わらぬものが文化や伝統として生き続け

ている事は素晴らしい事であります。そのような古都京都で六月十九日に開催された神道政治連盟京都府本部第二十回会員大会にお招きを頂き、同志の皆様方と共に時局を語り合い誓い合えた事は洵に有難く、且つ有意義な事でありました。

皇室の尊厳護持と神道精神を国政の基礎にという理念のもとに結成された神政連にとって、小泉前首相の私の諮問機関である皇室典範改正有識者会議が出した

結論は、皇統史上前例のない長子優先、女系天皇容認という二千年を超えるわが皇室の伝統を否定し破壊する内容のものでありました。ひと度この改正案が原案どおり通常国会で可決成立した時のわが国の将来を想像しますと空恐ろしい思いがします。わが国が唯一世界に誇れる皇室の伝統をいとも軽薄に改変する罪の大さきもさることながら過去に王位継承問題が惹き起こした世界の歴史の災禍をわが国において繰り返す愚は絶対に避けねばならないことでした。このような危機感から神道政治連盟中央本部は国会開会の前日にあたる一月十九日に憲政記念館において「拙速な皇室典範改正を阻止する決起集会」を開催し、約八百名の神社関係者と共に国会陳情活動を展開しました。その後二月七日に奇跡とも天佑神助とも言うべき秋篠宮妃殿下御懐妊の発表があり、とりあえず拙速なる改正案は見送られ事態は鎮静いたしました。しかし政府部内には依然として女系天皇容認の動きがあることから、神道政治連盟京都府本部を始め全国各地で「皇室の伝統を守る大会」が開催され国民意識の高まりをみたことは力強い限りであります。そしてこのような全国の有志の皇室伝統護持の熱誠と祈りが結実したかのようになり、九月六日に実に四十年ぶりの親王が御誕生になり「悠仁親王」と命名されたことはご承知のとおりであります。この御慶事により当面の危機は回避されたものの、将来の皇室を展望した時、現行の皇室典



範では天皇家以外に皇族はお方もいなくなるということになります。従つて終戦時の昭和二十一年に占領軍の政策によりやむなく皇籍を離脱された旧皇族の方々の処遇の問題と併行して、後継がなく廃家となつた官家の再興や養子制度の導入による御皇族の存続など御皇室の安定的拡充を図ることは急務と言わざるをえません。私共は敗戦によつて断たれた伝統を回復し、占領政策や伝統的勢力によってゆがめられた日本の正常化に今全力を尽くさなければならぬ時に至つております。私たちはよく伝統や文化を守ると口にいたしますが、本当は我々がいかに三千年余に及ぶ皇室とその伝統や文化に守られているかを自覚すべきです。わが国を代表する伝統と文化の都、神道政治連盟京都府本部の益々の御発展を御期待申し上げます。

年齢を数えるには主に、「満〇〇才」と「数え歳」という二つの方法があります。自ら子どもを授かり「十月十日」の妊娠期間を経て実感しましたが、「満〇〇才」という現在の主流は、この世に誕生してからの実年齢の数え方として分かりやすい一方、伝統的な「数え歳」というのは、赤子がお腹の中に宿っている時点から、その命の営みを認めているという歳の数え方であり、目には見えないけれども、母親のお腹の中で懸命に育つている命の鼓動に対する賛歌なのだと感じるようになりました。

率直なところ、それまで「数え歳」の概念は、合理的ではなく面倒だと思つていましたが、自らの妊娠・出産を境に、日本の慣習には実践的な哲学があり、超音波健診などなかつた時代から、既に科学的な識見を、生活の中で持ち合わせていたのだろうと、日本の風土の中で培われた知恵に共感と納得をすることが多くなりました。



今こそ活かしたい 世代間互助と知恵の伝承

参議院議員 比例代表（全国区）選出
神道政治連盟国会議員懇談会副幹事長

ありむら治子先生



「先人から私達、私達から次の世代」という世代間互助の精神や知恵を日々の暮らしに活かしていくという課題は、どの世代も参画できる活力ある街づくり、その集合体としての地域・国柄をかけた大きなテーマです。有村治子が、これらもまっすぐに、命の重み・家族の絆・国家の尊厳を守る言動を重ねたいと考えています。

来年夏の参議院選挙に向けて、神道政治連盟中央本部が推薦を機関決定して下さいました。「神道の精神を国政に、日本の人を政策に」を念頭に、神政連ただ一人の推薦候補として、全力を尽くして参ります。日頃から賜つておりますご厚誼に心から感謝申し上げ、今後ともご指導賜りますようどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

沖縄・京都の塔慰靈参拝団

なきじんべいく
今帰仁城跡より東シナ海を臨む

研修旅行報告
平成17年
11月29日(火)～30日(水)

昨年度も一泊二日の日程にて慰靈参拝団研修旅行を執り行つた。今回は出来るだけ沢山の方々に参加して頂けるよう、企画段階から参加費の軽減に努めた。その結果、往復の航空運賃・宿泊費・移動貸し切りバス代金・懇親会費を含めて四万円という格安の参加費で執り行うことが出来た。全て手作りのツアーアーであつたため、出発から解散まで島羽副幹事長・中森事務局員には終始、添乗員に徹して頂き、プロ以上の細かい配慮があつたことに付いてお礼を申し述べたい。

旅行を企画するに際し、気を使うのは「住」と「食」泊まる所と食事だそうだ。観光・研修・見学先の選定についてはガイドブックなどに詳しく書かれており、当たり外れはないのだが、特に食事についてはメニューの写真を見て美味しそうなものを選んだとしても、味までは確認できない。運を天に任すより他ないところがある。しかも沖縄料理においては手の込んでいるものが多く、料理人によって同じ食材を使つた料理でも味が全く異なつてくるコンダクター泣かせの料理なのである。

参加者は各々の所から伊丹空港出発ターミナルに三十二名が集結、空路沖縄へ向かつた。客室は疎ら、この時期に沖縄へ行かれる方は少ないようだ。

程なく那覇空港に到着、バスに乗り込み那覇市内の昼食会場「でいご」へ。ここで参加者は沖縄料理の真髓を味わうことになる。テーブルには既に沖縄料理が並べられており、「みみがー」(豚の耳)「じいまあ豆腐」「もずく」「くーぶいりちー」(昆布料理)が小鉢で用意されている。横にある「漬物」と「ご飯」と一緒に頂くようだ。しかしながらどう考えても量が少ない。あつという間に全ての小鉢のものを平らげてしまった。これで終わりかと思つたその瞬間、その頃を見計らつて、か、暖かい「らふていー」豚の角煮「ゴーヤチヤンブル」が大皿で登場。仕上げには「沖縄そば」も出てきて大満足。お口直しのパインの味に酔いしれながら一路、最初の訪問先、波上宮へ。

正式参拝の後、沖縄県神社庁参事渡慶次馨氏の由緒説明を受け、現在大阪地方裁判所において訴訟中である「沖縄集団自決冤罪訴訟」に関するお話を聴くことが出来た。沖縄戦末期、多くの市民が集団自決されしており、現在ではそれらの行為は時の日本軍将校の指導によるものとなつてている。これは戦後、厚生省により執り行われた遺族年金拠出調査にかかる市民の偽りの証言に端を発するものであり、決して日本軍将校が指導したものではない。遺族のため致し方なく偽証を行つた当人も

現在ではいたく反省しているとの本人の手記を資料に語つて頂いた。参加者一同この裁判の正当性と必ずや勝ち得ることに確信を持ち京都の塔が建つ嘉数高台公園に向かう。

祭典準備のため奉仕者は一足先に斎場に向かつたのだが、既に斎場は清掃されており、祭壇までくまれてあつた。これは波上宮さんのご配慮によるものであり、毎年のことながらこのご好意には深く感謝したい。本隊が到着する頃には準備も万端。習礼をする余裕すらあつた。慰靈祭は吉田副本部長が祭主を務め、祭員には堀川副幹事長・中野京都府神道青年会会长がこれにあたり、奏楽は野村八坂神社禰宜にご奉仕頂いた。清々しい笛笛の音色にのり、祭典は厳かに進み、莊嚴な雰囲気の中、



波上宮にて正式参拝



目頭が熱くなるような祭詞が奏上された。参会者は夫々の思いを胸に、一人ひとり玉串を靈前に手向け、感謝と冥福、日本の平和を祈つて。慰靈祭自体は滌りなくご奉仕申し上げることが出来たが、祭典中、我々神政連京都府本部として考えなければならない出来事があつたので記しておきたい。

京都の中学校・高校の修学旅行において、沖縄県を修学先に選ぶ学校は少なうない。各バス会社は京都からの学生を受け入れる際、必ず京都の塔の参拝をコースに入れるらしい。慰靈祭が行われたこの日もバスガイドさんの先導により、約百名の青少年が京都の塔を訪れていた。しかし一人として塔に手を合わせる生徒はいない。完全な無宗教の慰靈碑である京都の塔に、沖縄戦で國のため尊い命を捧げられた同府人である御靈に対し、何の表現もない。この学生たちはいつたい何を考えているのか。また、学生らが通う学校の教師はどういった教育をしているのか、疑問を感じざるを得なかつた。我々が重点活動方針に掲げる「教育基本法改正」の運動。この中に宗教的情操教育を盛り込み、社会に出して恥ずかしくない、日本人を育成することが急務であることを痛感した。

神道政治連盟京都府本部幹事長 梶 道嗣

沖縄・京都の塔慰靈参拝団

例年より早く開花した桜が美しく咲く中、神道政治連盟京都府本部では京都府本部長以下総勢三十五名の参拝団を結成し靖國神社参拝旅行を行つた。恒例の靖國神社参拝に併せ、本年は京都府出身の関係祭神を顕彰する慰靈祭が斎行された。

当日は団体参拝が多く、定刻より少し遅れての斎行となり、その間、参集所に於いて、権宮司三井勝生氏より、靖國神社諸施設の説明を始め、現在靖國神社がかかる諸問題、特に政治家などからの受け入れがたい要望や、戦後、昭和殉難者の方々の台帳が国から提出されたことを受け合祀した経緯等、貴重なお話を色々と伺うことが出来た。



靖國神社 京都府出身戦没者慰靈祭

平成18年
3月
26日(日)

慰靈祭では、まず拝殿での修祓の後、本殿に昇殿し、「海ゆかば」が奏でられる中、神饌が献じられ、嚴かに斎主の祭詞奏上が行われた。続いて、田中庁長、林本部長が玉串を奉奠、一同列拝した。祭典終了後参列者全員が默祷し、我國のために尊い命を捧げられた護國の英靈に対し深く感謝と哀悼の誠を捧げた。

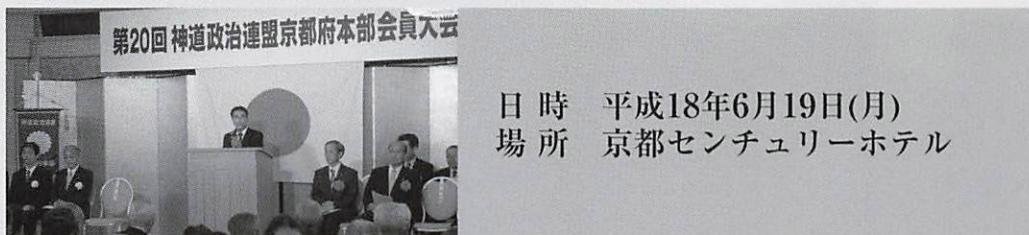
参拝後は昨年立川市に開設された昭和天皇記念館の見学を行つた。靖國神社の最寄りの地下鉄九段下駅からJRに乗り継ぎ、立川駅より歩で十分、約一時間程で記念館に到着した。

当館は、昭和天皇御在位五十周年記念事業の一環として設置された国営昭和記念公園の花みどり文化センターの中にあり、館長自ら懇切丁寧に説明をいただいた。

館内では「昭和天皇八十七年の生涯」のビデオが流れ、昭和天皇の植物学ご研究で採集された標本や香淳皇后ゆかりの資料が多数展示され、ご生誕から時代の変遷を顧みる各種の資料は、靖國神社での参拝の後だけに、感慨深く拝観できた。

今回の参拝旅行は、神道政治連盟京都府本部主催であるがこそ行えた、実に意義深きものであった。

第二十回 神道政治連盟京都府本部会員大会



平成18年6月19日(月)
京都センチュリーホテル

日時
場所

当連盟では、第二十回目を数える会員大会を開催し、府内遠近より約三三〇名の会員が参集した。

午後一時、竹内幸平副本部長の挨拶で開会。次に神宮遙拝、国旗儀礼、国歌斉唱と順に次第を進め、藤森副幹事長の先導で綱領が声高らかに唱和された。次に林秀俊副本部長が昨今の憂慮すべき社会状況の中、神政連の果たすべき役割と、取り組みへの決意について挨拶がなされた。

引き続いて、昨年度当連盟に対し特に功績があつた方々に対する表彰式が執り行われた。今回表彰を受けられたのは、亀岡市神社総代会副会长原田太郎氏、山内政美氏、同会庶務柳原善信氏、北桑田支部総代会会长安井多喜男氏の四名で、会場からの労いの拍手の中、受賞者を代表して原田太郎氏に賞状が授与された。

その後、本大会に多忙の中ご来臨いただき來賓の紹介がなされ、その代表とし



入会受付中

神道政治連盟京都府本部では、新規会員を募集しています。
会員の皆様も、身近な方々にご入会をおすすめください。

- ・正会員 年会費 2,000円（運営費を含む）
- ・有効会員 年会費 3,000円（運営費を含む）

詳しくは、神道政治連盟京都府本部事務局までお問い合わせください。

電話 075(863)6677
FAX 075(863)6664
メール info@kyoto-jinjacho.or.jp



て、講師でもある神道政治連盟副会長後藤俊彦氏、京都府神社庁長田中恆清氏、参議院議員二之湯智氏よりそれぞれ祝辞を戴いた。

次ぎに、各界より頂戴した祝電・祝い状を披露申し上げ、その後梶幹事長より会務報告がなされたが、時間の都合上大幅に端折っての報告となってしまったことは、この場をお借りして会員の皆様にお詫び申し上げたい。

この後、常永遠の合唱、国旗儀礼と次第は進み、最後に吉田武雄副本部長より閉会の辞が述べられ第一部の式典が閉じられた。

若干の休憩を挟み第二部講演会として神道政治連盟副会長であり九州は宮崎県鎮座高千穂神社宮司の後藤俊彦先生より「すばらしい皇室の伝統」と題する講演を頂いた（詳細は本紙掲載の先生寄稿文を参考）。

神道政治連盟京都府本部副幹事長 堀川博史

藤俊彦氏、京都府神社庁長田中恆清氏、参議院議員二之湯智氏よりそれぞれ祝辞を戴いた。

照されたし）。我が国が世界に誇る皇室とその起源に遡る神話の素晴らしさを改めて認識した次第であった。

講演終了後、再び若干の休憩を挟み、懇親会が盛大に執り行われ、来賓の方々を交え会員相互に懇親を深め合い和やかな裡に散会した。

水無月

- 6月 8日 · 神政連中央本部本部長会 林本部長・中嶋事務局長出席 〈於 神社本庁〉
 6月 9日 · 神政連中央本部中央委員会 林本部長・竹内副本部長・吉田副本部長・梶幹事長・中嶋事務局長出席 〈於 神社本庁〉
 " · 神政連中央本部事務局会議 中嶋事務局長出席 〈於 神社本庁〉
 6月19日 · 京都府本部代議員会開催 〈於 京都センチュリーホテル〉
 " · 第20回員大会開催 〈於 京都センチュリーホテル〉
 " · 清政第40号発行
 6月24日 · 船井神社総代会総会 林本部長出席 〈於 氷室の郷〉

文 月

- 7月 9日 · おがたまの木コンサート 林本部長以下関係者出席 〈於 京都文化博物館〉
 7月18日 · 丹波五支部連合総会 林本部長出席 〈於 ガレリア亀岡〉
 7月20日 · 神道政治連盟近畿地区協議会 林本部長・中嶋事務局長 〈於 和歌山東急イン〉
 7月21日 · 京都府神社庁 関係団体代表者懇話会 林本部長他出席 〈於 京都府神社庁〉
 7月30日 · 有村治子参議院議員国勢報告会 林本部長以下関係者出席 〈於 平安神宮会館〉

葉 月

- 8月15日 · 終戦記念日の集い 三井事務局員出席 〈於 靖國神社〉
 8月20日 · 中支部神社総代会総会 林本部長出席 〈於 金刀比羅神社会館〉
 8月28日 · 日本会議・京都平成18年度総会 〈於 八坂神社常磐新殿〉
 " · 日本会議全国縦断キャラバン隊歓迎式典 〈於 八坂神社常磐新殿〉

長 月

- 9月 2日 · 山城四支部連合会総会研修会 梶幹事長出席 〈於 黄檗山萬福寺及び白雲庵〉
 9月 5日 · 京都府本部監査委員会開催 〈於 北野天満宮〉
 " · 京都府本部役員会及び懇親会開催 〈於 北野天満宮及び豊しげ〉
 9月 6日 · 神政連中央本部役員会 林本部長出席 〈於 神社本庁〉
 9月24日 · 第35回交通慰靈祭 林本部長以下関係者参列 〈於 亀岡文化会館〉
 9月26日 · 平成18年度第1回定期代議員会開催 〈於 京都府神社会館〉
 9月27日 · 府議会自民党議員団季刊誌皇室贈呈並びに府議懇談会打合せ会 林本部長・中嶋事務局長・三井事務局員出席 〈於 京都府議会事務局〉
 " · 級喜神社総代会総会 梶幹事長出席 〈於 三朝町総合文化ホール〉

神無月

- 10月 3日 · 京都府神社庁神宮大麻曆頒布始奉告祭 林本部長参列 〈於 京都府神社庁〉
 " · 第16回神宮大麻曆頒布増強推進懇談会 林本部長出席 〈於 京都府神社庁〉
 10月24日 · 霊璽簿からの氏名抹消等請求訴訟第1回口頭弁論傍聴券獲得 松吉・鷹野副幹事長以下6名出席 〈於 大阪地方裁判所及び大阪府神社庁〉
 10月27日 · 皇太子殿下同紀殿下御来京御奉送迎 〈於 京都駅〉
 10月30日 · 京都府神道青年会55周年記念式典 林本部長出席 〈於 京都全日空ホテル〉
 10月31日 · 洛北支部神社総代会総会 林本部長出席 〈於 京都ブライトンホテル〉

霜 月

- 11月 2日 · 京都市上支部神宮大麻曆頒布始奉告祭並びに総会 梶幹事長出席 〈於 平野神社〉
 11月17日 · 京都府神社庁新嘗祭 林本部長参列 〈於 京都府神社庁〉
 11月19日 · 皇室の慶事を奉祝する京都府民集会 〈於 京都商工会議所〉
 11月21日 · 京都府戦没英靈追悼慰靈祭並びに時局講演会 〈於 藤森神社〉
 " · 清政第41号発行

あづかれる宝にも似てあるときは
吾子ながらかひな畏れつゝ抱く
わこち
悠仁親王殿下の御誕生を心からお慶
び申し上げます。御印に我国特産の高
野楳が選ばれましたが、「日本書紀」に、
楳も杉も桧も楠も、素戔鳴尊が体の毛
を抜いて撒かれたところ生じたとあり
ます。木は、古く「け」と発音したら
しく、まさに、大地の毛なのです。

産院を訪れられた両陛下のお顔は、
喜びに満ち溢れておいででした。右
の御歌は、皇后陛下が、浩宮様をご出
産になった昭和三十五年にお詠みにな
りました。将来、天皇の位をお継ぎに
なるお子様と思われると、我が子であ
りながら抱くことも畏れ多い、立派に
お育て申し上げなければならないとい
う、皇后様のお覚悟に胸を打たれます。
今の若い人は、子供を作ると言い、
子供が出来ちゃったと言います。自分
達の行為だけで子供が生まれたと思
つかるようになります。一昔前は、
子供を授かると言い、子宝に恵まれた
と言いました。御歌に「あづかれる宝
にも似て」とあります。子供達一人
人が、世の修理固成に務めるべく命
を受け、神様から両親がお預かりした
のです。預かった子供を一人前に育て
て神様にご覧いただく、私達も心して
子育てに務めたいと思います。
(羽)

編集室だより

● 神風が吹いて…

いよいよ安倍政権も本格化、その色も少しずつ明確になって来た。「我が国と郷土を愛する」という言葉を大切にするニューリーダー安倍総理は、予てより神政連と共にアイデンティティーが同調している。安倍氏の国家の舵取りは、我々にとって大きな飛躍の好機となるであろう。また皇室典範の改正論議も悠仁親王殿下のご誕生でひとまず沈静化。これらの出来事は真に我々の努力や祈りが神に達し、神の力で神風が吹き、そしてその風は今や追い風となった。しかしながら先般、東京地裁では国歌国旗法とは明らかに異なる違法判決が下された。また靖國訴訟においては主文での勝訴にも関わらず傍論だからこそ控訴ができないという苦渋の結果となっている。この出来事は三権分立の中で中立であるべき司法の地盤に危機が生じている証拠である。

●ご意見ご感想をお待ちしています。
投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、
FAXか電子メールでお願いします。

宛先／神道政治連盟京都府本部
「清政」編集室
ファックス／075-863-6664
電子メール／
info@kyoto-jinjacho.or.jp



このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS(Shinto Association of Spiritual Leadership)と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

清政 第41号

発行日 平成18年11月21日(火)
発行所 神道政治連盟京都府本部
〒616-0022 京都市西京区
嵐山朝月町68-8

電話 075-863-6677

神政連ホームページを
ぜひご覧ください。
<http://www.sinseiren.org>

おがたまの木コンサート

日 時 平成18年7月9日(日)

場 所 京都文化博物館別館ホール



この国は既に亜熱帯地域と化したのだろう
と幻覚に陥るほど気候が変化し、梅雨の大
雨はかつてないほどに我々に脊髄なく襲い
掛かった。
人々はオアシスを求め、このおがたまの木
の木陰に寄り添う様に集まり、その濡れた
心をクオリアで満たした。そしてそれはし
だいに身体に馴染む感覚へと変化した。

今回はNPO法人地球予防医学推進協
会を設立され、現在理事長をお勤めの医
学博士山本理江先生を講師として迎え、
『子供の未来をつくる 生活リズムと食
育』と題するレクチャーアーを授かった。山
本先生はドクターを通じ、「生活習慣病
予防は子供の時から始めなければ遅い」
という結論に行き当たり、食の伝道師とな
った。

ときは今「食育」。子供の未来、我々
の子孫を絶やさないために、すぐにでも
本気でからなくてはならない課題がそ
こには見える。

第一部

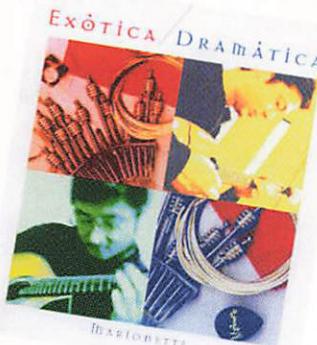


NPO法人
地球予防医学推進協会 理事長
山本理江 先生(医学博士)

先生のお話から眞の健康とは何か・・・
共に響きあう肉体と精神のつながり。飽
食の時代に生きる我々の食の盲点。など
の切り口は我々を覺醒させた。

食をマネージメントする。すなわち、
「誰と（誰がつくり）何處で何を何故
(目的)どのように「食するか」で違いが
ドラスティックに出る。更にそこには家
族とのつながり、子供の大切な娘のボイ
ントがある。どうかブックマークをつけ
てください。そして本当に大切な「食」
を見つめ直してください。

今年もバージョンアップしたアコース
ティックデュオ「マリオネット」がニユ
ーリース「エグザチカ・ドラマチカ」
を引きさげての登場。年を追うごとに見
事に進化したファドの旋律は聞くものに
何處か懐かしさを感じさせる。デジタル
なサウンドにお腹いっぱいの我々にはと
ても優しい。



マリオネット

ポルトガルギター＆マンドリンマリオネットのポルトガルギタ
ーとマンドリュートが奏でるアコースティックな音色。ポ
ルトガルはアルファマ地方の歌である「ファド」を中心
にボビュラーまで、透明感のあるノスタルジックなサウンド

第二部